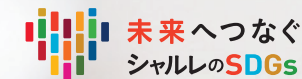


いつも、私らしく輝ける場所がある。



いつも、私らしく輝ける場所がある。



株主の皆様へ

第51期 報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885

株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>

株主の皆様へ



2026年6月
代表取締役社長
林 勝哉

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

長期ビジョン（10年後のあるべき姿）

いつの時代も「新しい豊かさ」を追求する企業へ

第51期（2025年4月1日から2026年3月31日）の事業報告

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策や中東情勢など不安定な国際情勢の影響により、原材料価格やエネルギーコストの高騰が続くなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、売上高につきましては、レディースインナー事業において、衣料品類が低調な推移となり、前年を下回る結果となりましたが、2025年5月にスポーツウェア事業であるオンヨネ株式会社の株式を取得・子会社化し、当事業の売上高は堅調に推移したことにより、当社グループの売上高は129億32百万円（前連結会計年度比12%増）となりました。利益面につきましては、レディースインナー事業における衣料品類の販売不振による棚卸資産評価損の増加や当期発売商品（ヘアケアアイロン）の自主回収の発生等により、売上総利益が大幅に減少した結果、11億15百万円の営業損失（前年同期の営業損失は9億61百万円）、10億49百万円の経常損失（前年同期の経常損失は9億34百万円）となりました。

特別利益としてはオンヨネ株式会社の子会社化に伴う負ののれん発生益1億11百万円を計上しましたが、特別損失としてレディースインナー事業における固定資産の減損損失23億48百万円の計上、加えて商品の自主回収に伴う関連損失82百万円の計上、委託先配送センターの1拠点体制への移行（2026年末頃を予定）に伴う倉庫閉鎖損失62百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は35億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失10億12百万円）という極めて厳しい結果となりました。株主の皆様をはじめとする関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

この事態を厳粛に受け止め、経営責任を明確にするため、次年度に継続して任にあたる取締役（監査等委員である取締役を除く。）の業績連動報酬の減額、代表取締役社長の役位手当の減額、加えて常勤監査等委員である取締役の月額報酬の一部を自主返上いたします。

また、当社は中長期的な企業価値の向上と、株主の皆様への安定的な利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、これまで築き上げてきた財務基盤を背景に、将来の投資余力、財務の安定性、株主還元などを総合的に検討した結果、期末の配当金につきましては、期初の配当方針（事業年度の業績に応じて配当性向70%程度または1株当たり年間8円配当を下限と定め、そのいずれか多い方を基準とした配当）を変更しないことといたしました。経営陣一同、改めて身を引き締め、経営改革と業績回復に全力を尽くしてまいります。

今後の取り組みについて

今後の取り組みとしては、レディースインナー事業における収益構造自体（原価や費用構造）に重大な課題があるものと認識しており、右記の5つの対応策を迅速に実行し、事業面及び財政面での安定化、持続的な収支の改善に努めてまいります。一刻も早い業績回復と信頼回復を果たしてまいります。

これらの対応策は2035年3月期をゴールとした長期ビジョン「Charle Group Vision 2035」、並びにグループ中期経営計画の達成に向けた戦略推進と並行して取り組んでまいります。中長期的な既存事業への成長戦略に沿った投資は継続しつつ、事業改革を予定通りに推し進め、業績回復およびグループ全体の持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

収益改善に向けた取り組み

1 商品ポートフォリオの見直し

- ・高粗利商材の売上構成本比の拡大
- ・低利益商材の改廃
- ・グループ会社との協働開発商品の発売

2 仕入コストリダクション

- ・新たな仕入先や生産国の探索などを踏まえ、商品調達方法の見直しの実施

3 在庫ロス軽減策

- ・マーケティング・プロモーションの強化
- ・需要予測精度の向上

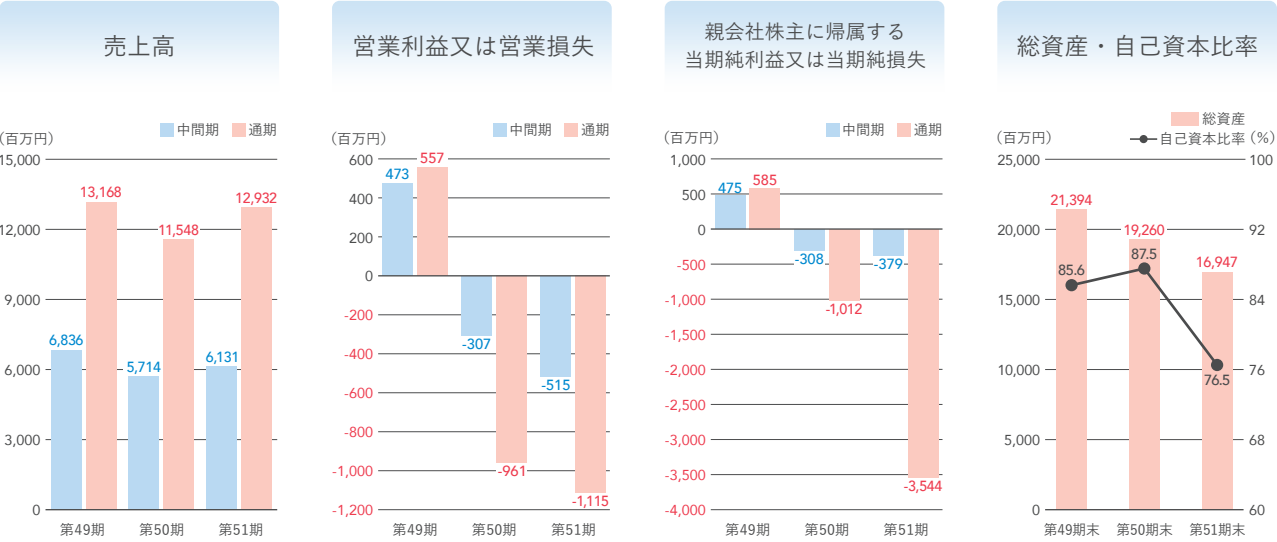
4 顧客サービスの最適化

- ・受発注システムの統廃合を含むサービスの見直し

5 デジタル化による業務削減

- ・社内管理業務のデジタル化やAI活用の推進
- ・社内機能やシステムの統廃合による業務削減

連結財務ハイライト



通期業績予想

売上高

13,500百万円

前期比 4.4%増

営業利益

140百万円

前期比 —

親会社株主に帰属する
当期純利益

110百万円

前期比 —

1株当たり
当期純利益

7円38銭

事業報告（セグメント別売上高）

単位:百万円・%			
レディースインナー事業	2025年3月期 売上高/売上構成比	2026年3月期 売上高/売上構成比	トピックス
衣料品類	7,806百万円 67.6%	7,495百万円 58.0%	定番商品の価格改定を実施しましたが、値上げ後の反動減により売上は鈍化し、加えて数量限定の婦人用アウター類の販売不振もあり、売上高は前年実績を下回る結果となりました。
化粧品類	2,036百万円 17.6%	1,965百万円 15.2%	数量限定商品の販売状況は堅調に推移しましたが、定番商品の価格改定（値上げ）後の反動減により売上は鈍化し、前年実績を下回る結果となりました。
健康食品類	925百万円 8.0%	904百万円 7.0%	新商品の「ルミオーラ」の売上は好調に推移しましたが、定番商品の売上は伸び悩み、前年実績を下回る結果となりました。
その他	308百万円 2.7%	291百万円 2.3%	新商材の美容家電「ヘアケアアイロン」並びに株式会社TKSのミスト機能付きシャワーヘッドを発売しましたが、売上高は前年実績を下回りました。
その他事業	—	34百万円 0.2%	当事業年度より開始した不動産事業による賃貸収入の売上高となります。
グループ各事業	2025年3月期 売上高/売上構成比	2026年3月期 売上高/売上構成比	トピックス
スポーツウェア事業	—	1,816百万円 14.0%	5月にオンヨネ株式会社を子会社化。当事業年度は変則決算により、8カ月分の売上高を計上しております。売上高の多くはスノーウェア類が占めており、計画通りに推移しました。
ファインバブル事業	472百万円 4.1%	424百万円 3.3%	シャワーヘッドの新商品を発売し、プロモーション活動も注力しましたが、市場での競争激化が続く中、販売状況は伸び悩み、前年実績を下回る結果となりました。

トピックス

■ オンヨネ株式会社を当社グループの傘下に

2025年5月に、当社はオンヨネ株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。オンヨネ株式会社は、スノーウェアを中心とする各種スポーツウェアの企画・製造・販売を行っており、同分野や健康関連分野で培われた優れた技術力、商品開発力、マーケティング力を有しております。そのノウハウを活かし、株式会社シャルレと協働して、健康関連分野における新たな商品開発に向けて取り組んでおります。



■ 「2026 ANYONE SKI CARAVAN」を開催！

オンヨネ株式会社では、4月より「2026 ANYONE SKI キャラバン」を全国各地11会場で開催しております。全てのお客様を対象に最新のスキーウェアを中心に取り揃えた展示会です。仮予約もでき、多くの方にご来場いただいております。ANYONE商品を実際に、手に取ってご覧いただき、試着していただくこともできます。オンヨネスタッフが商品のこだわりや特徴を丁寧に説明させていただきます。



※上記写真:5月15日(金)・16日(土)の2日間、株式会社シャルレの本社で開催。

■ 「肚力®VEST」が厚生労働省SAFEアワード ブロンズ賞を受賞！

オンヨネ株式会社は、「運動を科学した行動着」をテーマに、スポーツやアウトドアまたは幅広いワークシーンに対応するため、独自の技術を活かした製品開発を行っています。特に働く人々の衣服内環境を快適に保つために、高機能で実用性の高いウェアを多彩に提供しております。「正しい姿勢をサポートし、腰への負担を軽減する 肚力 VEST（はら・ぢから ベスト）一産学官連携による健康商品の開発ー」が厚生労働省 2025 年 SAFEアワードで評価され、ブロンズ賞を受賞しました。



■ 新商品のご紹介

2025年9月に新たな健康食品として、キレイと元気の両方にアプローチする「ルミオーラ」を発売しました。発売後ご好評のお声をいただいております。

いつまでも凛と輝く私へ



こんな方におすすめ

- ☑ キレイも元気も維持したい
- ☑ したいことを元気に楽しみたい
- ☑ 今も未来もあきらめたくない
- ☑ 人に会ったり外出したりをいつまでも楽しみたい
- ☑ いろいろありすぎて何を飲めばよいかわからない

美しさと健やかさをサポート

いつまでも自分らしく、キレイと元気をキープしたい。そんな思いに寄り添い、あなたを支える成分を厳選しました。



※イラストはイメージです。

■ ロングセラー商品のリニューアル

シャルレを代表する定番ショーツ

40年以上愛され続けているロングセラー商品

1977年5月の発売以来、40年以上売れ続けているヒットショーツ「お尻すっぱりデリーショーツ」をこの度、リニューアルしました。

お尻すっぴりの安心感、何ともしがたいフィット感、やさしい肌触りで発売以来不動の人気商品です。「はき心地の良さ」が人気の秘密で、親子三代に受け継がれる、シャルレの名品の一つです。



パレティシリーズ

大人の可愛さに定評のあるロングセラー商品

2004年の発売以来、華やかなカラーチェンジレースと豊かな色彩が大人の可愛さを演出するシリーズとして展開している「パレティシリーズ」。これまで多くのお客様に長くご愛顧いただき、長年の感謝を込めて2026年2月にリニューアル発売しました。

ライフスタイルや装いの変化に寄り添いながら、デザインやカラーを一新。サイズ展開をさらに拡充させ、幅広い年代や体型の方に心地よくお使いいただけるシリーズへと進化させました。



サステナビリティ

■ シャルレグループのサステナビリティ取り組み全体像

当社グループは、中期経営計画を推進し、サステナビリティにおける経営課題（マテリアリティ）の解決を図ることで、「Charle Group Vision 2035」の実現を目指してまいります。



■ ESG 投資への取り組み方針

- 環境
Environment

当社グループは、地球環境の保全を企業の果たすべき責任と位置づけ、品質にこだわり、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。環境保全活動を通じて、循環型社会の実現に貢献してまいります。
- 社会
Social

当社グループは、「いつも、私らしく輝ける場所」を提供する企業として、女性経営者を育成し、女性が活躍する社会を目指します。また、社内の働きやすい職場づくり、多様性の尊重、お客様と従業員の健康と成長を支える環境整備にも努めています。社会貢献活動を通じて、ダイバーシティの実現に貢献してまいります。
- ガバナンス
Governance

当社グループは、繊維・アパレル産業が持つ社会的責任を認識し、法令遵守、品質管理体制の強化、リスク管理の徹底を進めています。ステークホルダーの信頼に応えるため、情報開示を適切に行い、経営の透明性を維持します。経営陣による責任ある意思決定を通じて、持続的な企業価値の向上を目指します。

サステナビリティの取り組み、KPI
指標および実績の進捗状況について
は、以下よりご確認ください。



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

単位:百万円		
科目	当連結会計年度 2026年3月31日	前連結会計年度 2025年3月31日
(資産の部)		
流動資産	11,551	12,234
固定資産	5,395	7,025
有形固定資産	1,743	2,275
無形固定資産	51	1,063
投資その他の資産	3,600	3,686
資産合計	16,947	19,260
(負債の部)		
流動負債	2,430	1,587
固定負債	1,492	820
負債合計	3,923	2,407
(純資産の部)		
株主資本	12,937	16,865
資本金	100	100
資本剰余金	8,398	8,398
利益剰余金	4,914	8,584
自己株式	△474	△216
その他の包括利益累計額	21	△12
純資産合計	13,023	16,852
負債純資産合計	16,947	19,260

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円		
科目	当連結会計年度 2025年4月1日 ～2026年3月31日	前連結会計年度 2024年4月1日 ～2025年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,031	△1,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,453	△2,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129	△509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,611	△4,994
現金及び現金同等物の期首残高	7,692	12,687
現金及び現金同等物の期末残高	3,081	7,692

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

単位:百万円		
科目	当連結会計年度 2025年4月1日 ～2026年3月31日	前連結会計年度 2024年4月1日 ～2025年3月31日
売上高	12,932	11,548
売上原価	8,167	6,469
売上総利益	4,764	5,079
販売費及び一般管理費	5,880	6,040
営業損失(△)	△1,115	△961
営業外収益	81	27
営業外費用	15	0
経常損失(△)	△1,049	△934
特別利益	111	－
特別損失	2,496	31
税金等調整前当期純損失(△)	△3,435	△965
法人税、住民税及び事業税	77	8
法人税等調整額	26	39
当期純損失(△)	△3,539	△1,012
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△3,544	△1,012

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ46億11百万円減少し、30億81百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは、10億31百万円の支出となりました(前連結会計年度は18億4百万円の支出)。主な要因は、税金等調整前当期純損失34億35百万円、減損損失23億48百万円、減価償却費及びその他の償却費4億34百万円、売上債権の増加5億10百万円、仕入債務の減少2億29百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フローは、34億53百万円の支出となりました(同26億80百万円の支出)。主な要因は、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出11億92百万円、投資有価証券の取得による支出10億円、定期預金の増加10億1百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッシュ・フローは、1億29百万円の支出となりました(同5億9百万円の支出)。主な要因は、短期借入金金の増加3億50百万円、配当金の支払額1億24百万円、自己株式の取得による支出2億57百万円であります。

会社の概要・株式の状況

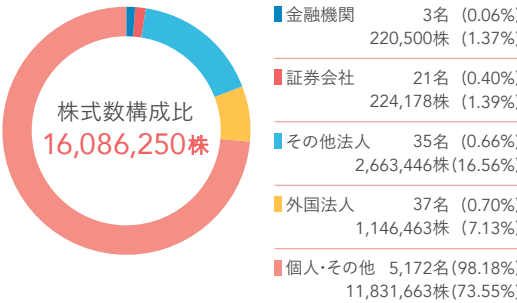
■ 会社の概要

概要（2026年3月31日現在）	
社 名	株式会社シャルレ
本社所在地	神戸市中央区港島中町7丁目7番1号
設 立	1975年11月19日
資 本 金	1億円
事 業 内 容	レディースインナーを主体とする 衣料品、化粧品、健康食品等の販売
社 員 数	205 名

■ 株式の状況

株式の状況（2026年3月31日現在）	
発行可能株式総数	84,000,000 株
発行済株式の総数	16,086,250 株
株 主 数	5,268 名

所有者別株式分布状況（2026年3月31日現在）



(注)所有者別株式分布状況については、自己株式を「個人・その他」に含めております。小数点第3位以下を四捨五入しております。

役員（2026年6月23日現在）		
代表取締役社長	林	勝哉
取 締 役	千本松	重雄
取 締 役	濱野	正治
取 締 役	有地	邦彦
社外取締役（常勤監査等委員）	吉田	稔
社外取締役（監査等委員）	茂永	崇
社外取締役（監査等委員）	中西	律子

株主名	当社の持株状況	
	持株数（株）	持株比率（％）
林 雅晴	1,508,925	10.12%
（有）G&L	1,272,432	8.53%
（有）Lam's	956,150	6.41%
INTERACTIVE BROKERS LLC	880,300	5.90%
林 勝哉	843,500	5.66%
瀬崎 五葉	834,700	5.60%
林 充孝	805,300	5.40%
林 宏子	737,699	4.95%
林 直樹	458,305	3.07%
林 達哉	291,000	1.95%

※持株比率は、自己株式(1,171,399株)を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関するお手続きについて

■ 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)
公 示 の 方 法	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9885

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

[URL](#)
<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>
[シャルレホームページ](#)
「シャルレホームページ」→「企業情報」→「コーポレートガバナンス」を選択

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料) 手続書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※)特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	